



■表紙写真

『「ラージウインドウホイール®」が
SUV[RAV4]に純正装着』

当社は、トヨタ自動車株式会社のSUV[RAV4]にラージウインドウホイール®の納入を開始しました。

今回採用された「ラージウインドウホイール®」は、一般的なスチールホイールと比べてディスクの飾り穴面積を4倍以上(当社製品比)に拡大し、飾り穴の大きさを生かしたスポークスタイルのデザインを実現しました。また、専用のホイールキャップを装着することで、デザインのバリエーションを広げることも可能になっています。今後も、顧客のニーズに的確に対応し、高付加価値製品の開発と拡販に努めてまいります。

第120期 中間期

株主の皆様へ

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

トピー工業株式会社



代 表 取 締 役 社 長

藤井 康雄

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第120期中間期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

当中間期連結累計期間における世界経済は、米国は緩やかに回復したものの、欧州の回復の遅れや新興国の成長鈍化により、弱い回復が続きました。わが国経済は、政府の経済対策により円高の修正や株価の上昇が進むとともに、公共投資の増加に加え、住宅投資や個人消費の上昇等の動きが見られ緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況下、当社グループは、グローバルでの“成長”と高収益体質への“変革”を基本方針とした中期連結経営計画「Growth & Change 2015」を推進しております。その一環として、北米及び南米市場での需要増加に対応するため、乗用車用スチールホイールの生産子会社であるトピー・エムダブリュ・マニファクチャリング・メキシコS.A. DE C.V.（メキシコグアナファト州）の設立を決定いたしました。また、ASEAN地域での需要増加に対応するため、建設機械用履帯の販売子会社であるトピー履帯インドネシア（インドネシア西ジャワ州）を設立いたしました。さらに、需要に応じた生産体制の構築や生産性の向上等のコスト改善にも引き続き取り組んでまいりました。

なお、配当につきましては、当社の利益配分に関する基本方針及び通期の業績予想を勘案いたしまして、期末に1株当たり2円を予定しております。

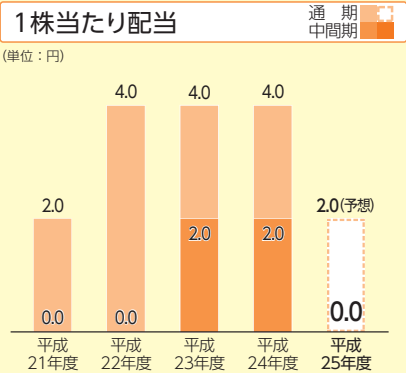
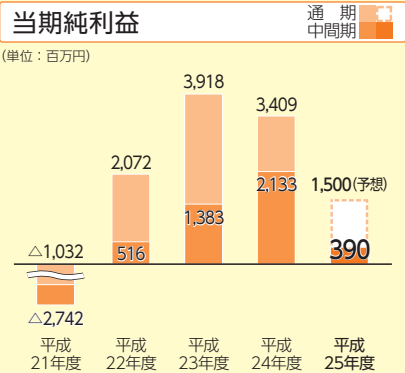
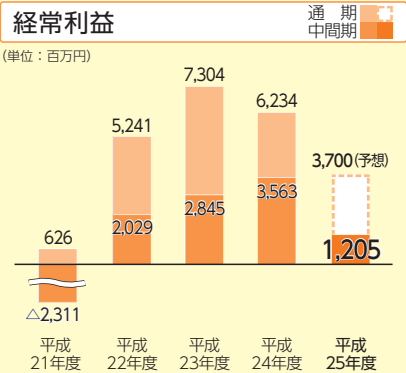
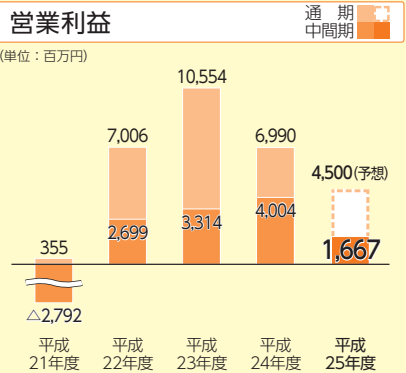
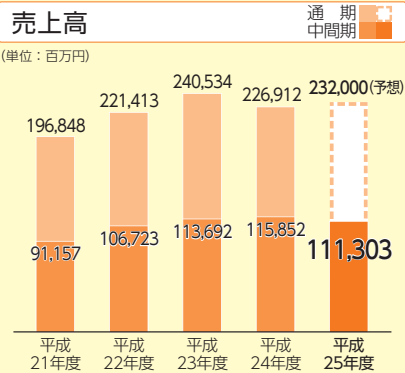
今後の経済環境の見通しにつきましては、政府が取り組む経済対策効果により、わが国経済は緩やかな回復基調が続くと期待されるものの、米国の政策動向、中国やその他新興国の経済動向等、世界経済の情勢に不透明感が強く、当社グループを取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続くものと思われます。

このような経営環境下、当社グループは、中期連結経営計画「Growth & Change 2015」を推進する中で、成長が見込まれる海外市場に対して積極的に事業展開を図るとともに、国内のモノづくり基盤を強固なものとすることで、環境変化に強い事業構造を確立し、企業価値の一層の向上に努めてまいります。今後も、コーポレートメッセージ「One-piece Cycle」が表す「素材から製品までの一貫生産」の優位性を発揮し、トピー工業グループの一貫利益の追求とさらなる躍進を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

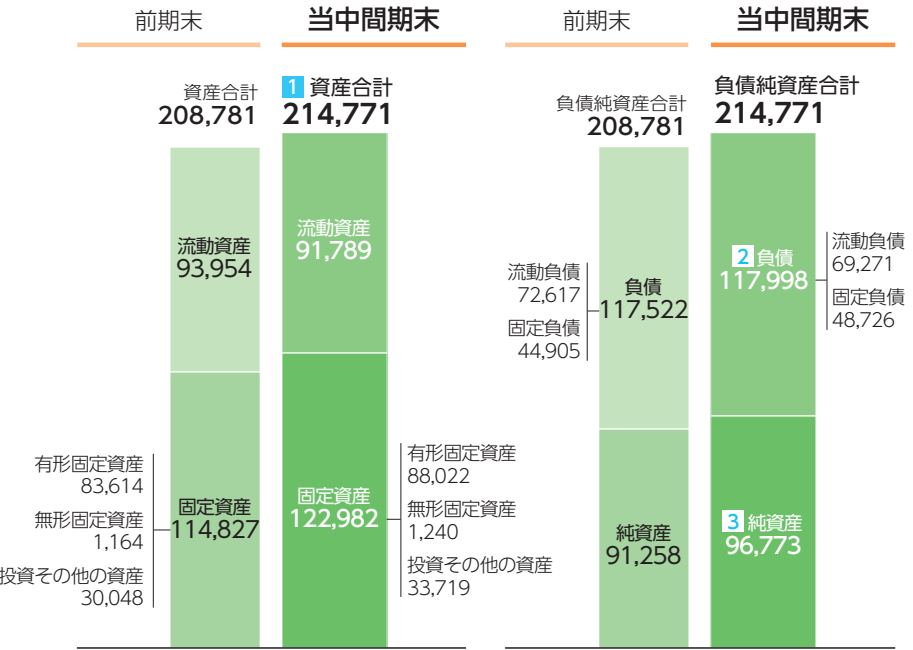
連結財務ハイライト



1 ※平成26年3月期の連結業績予想及び1株当たり配当予想に関しましては、平成25年11月6日に修正をしております。

貸借対照表の概要

(単位:百万円)



1 資産

有形固定資産の増加（44億7百万円）や投資有価証券の増加（43億2千5百万円）、現金及び預金の減少（37億6千7百万円）等により、前期末に比べ59億8千9百万円増加し、2,147億7千1百万円となりました。

2 負債

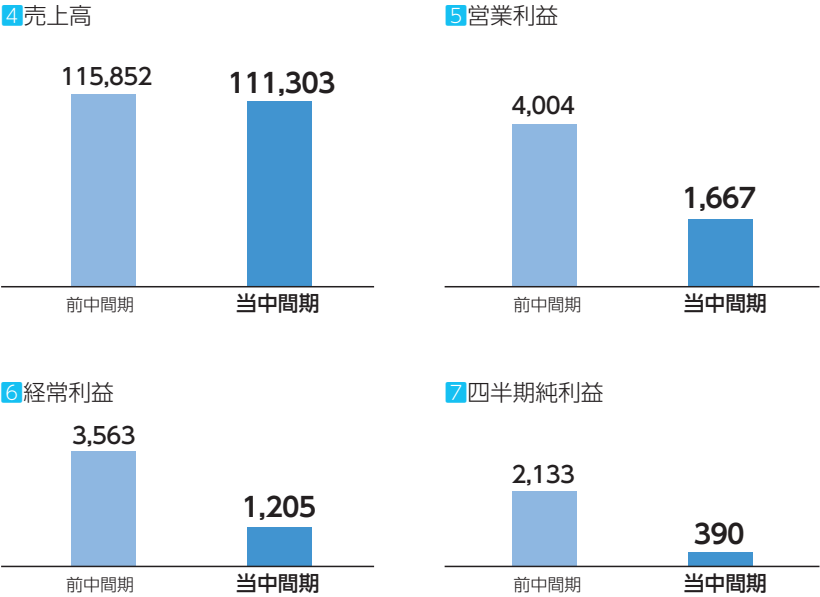
有利子負債の増加（37億7千9百万円）やその他流動負債に含まれる未払金の減少（33億4千6百万円）等により、前期末に比べ4億7千5百万円増加し、1,179億9千8百万円となりました。

3 純資産

その他有価証券評価差額金の増加（28億4千2百万円）や為替換算調整勘定の増加（26億9千万円）等により、前期末に比べ55億1千4百万円増加し、967億7千3百万円となりました。

損益の概要

(単位:百万円)



4 売上高

鉾山向け超大型ホイールや建設機械用足回り部品等の販売数量の減少が大きく、前中間期に比べ45億4千8百万円減収の1,113億3百万円となりました。

5 営業利益

需要に応じた生産体制の構築や生産性の向上等のコスト改善に取り組みましたが、売上高減少の影響が大きく、前中間期に比べ23億3千7百万円減益の16億6千7百万円となりました。

6 経常利益

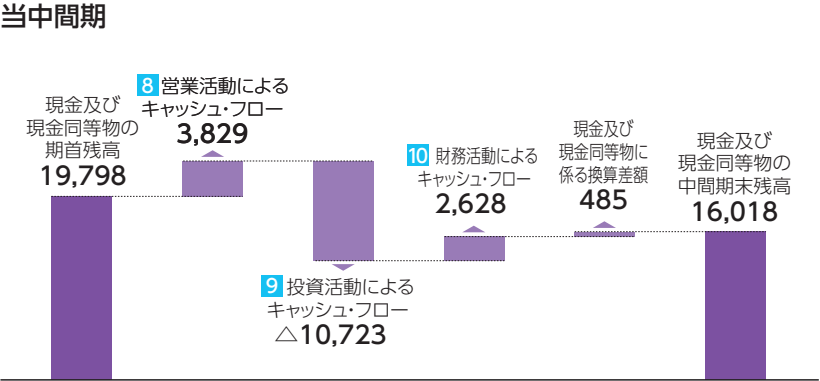
営業外損益が20百万円減少したため、前中間期に比べ23億5千8百万円減益の12億5百万円となりました。

7 四半期純利益

税金等調整前四半期純利益が23億6千5百万円減少しましたが、減益に伴い法人税等が6億3千7百万円減少したため、前中間期に比べ17億4千2百万円減益の3億9千万円となりました。

キャッシュ・フローの概要

(単位:百万円)



8 営業活動によるキャッシュ・フロー

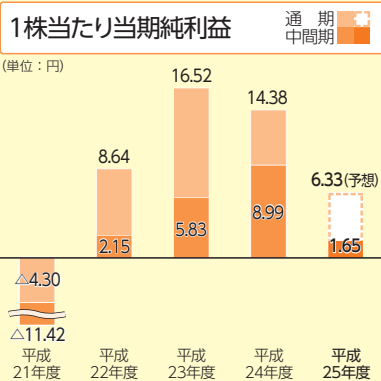
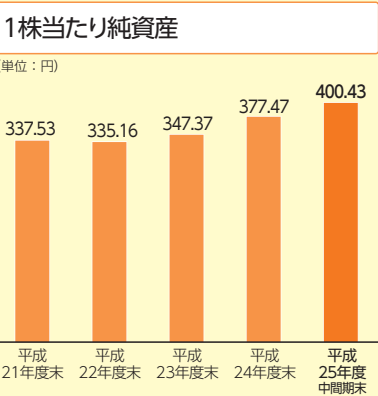
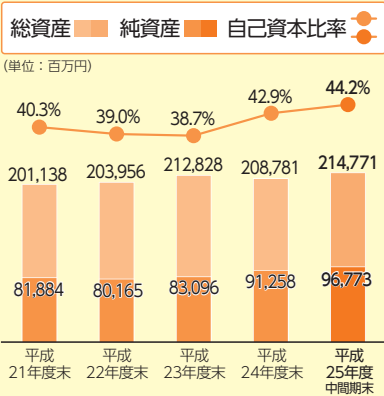
税金等調整前四半期純利益10億2千万円や減価却費48億1千万円、売上債権と仕入債務及びたな卸資産を合わせた純営業取引による資金の減少15億5千4百万円、法人税等の支払額8億9千3百万円等により、38億2千9百万円の増加となりました。

9 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出107億3百万円等により、107億2千3百万円の減少となりました。

10 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の減少62億5千5百万円、社債の発行による収入99億2千7百万円、配当金の支払い4億7千4百万円等により、26億2千8百万円の増加となりました。



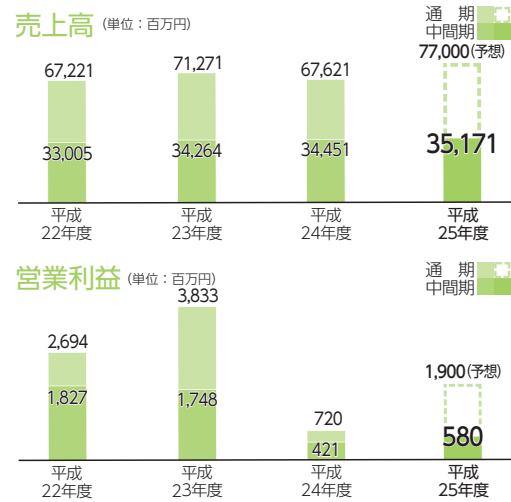
鉄鋼事業

電炉業界は、需要の低迷が継続するとともに主原料である鉄スクラップ価格及び電力をはじめとする諸コストの上昇が相まって、極めて厳しい環境となりました。

このような状況下、当社グループは、鉄スクラップや電力等の価格上昇に加え、自動車・産業機械部品事業に供給する建設機械用足回り部品向け鋼材需要の低迷による影響を受けたものの、あらゆるコストの削減を推進するとともに、原材料価格に見合った販売価格の形成に努めました。



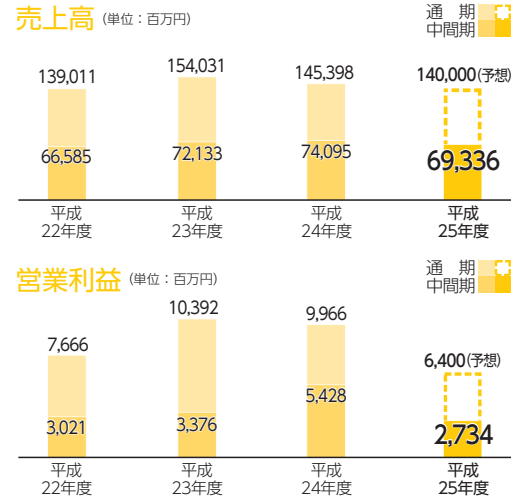
形鋼



自動車・産業機械部品事業

自動車業界は、震災復興需要の継続等によりトラックは好調に推移したものの、エコカー補助金の打ち切りに伴う乗用車の販売減少により、国内生産台数は前年同期を下回りました。建設機械業界は、震災復興や排出ガス規制に伴う駆け込み需要により国内需要が好調に推移したものの、鉱山機械が低調に推移したことに加え、東南アジア市場の成長鈍化により、厳しい環境になりました。

このような状況下、当社グループは、トラック用ホイールにつきましては需要を着実に捕捉し、販売が好調に推移いたしました。しかしながら、鉱山向け超大型ホイール及び建設機械用足回り部品の販売数量減少の影響を受けました。



その他

電力卸供給事業、屋内外サインシステム事業、化粧品等に使われる合成マイカの製造販売、クローラーロボットの製作販売、土木・建築事業、「トピレックプラザ」(東京都江東区南砂)等の不動産賃貸及びスポーツクラブ「OSSO」の運営等を行っております。



発電



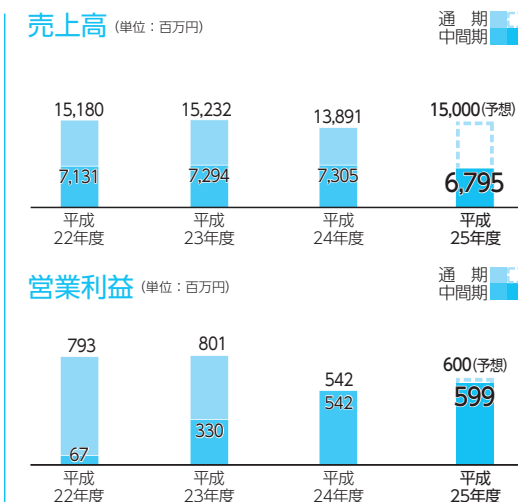
屋外サインシステム



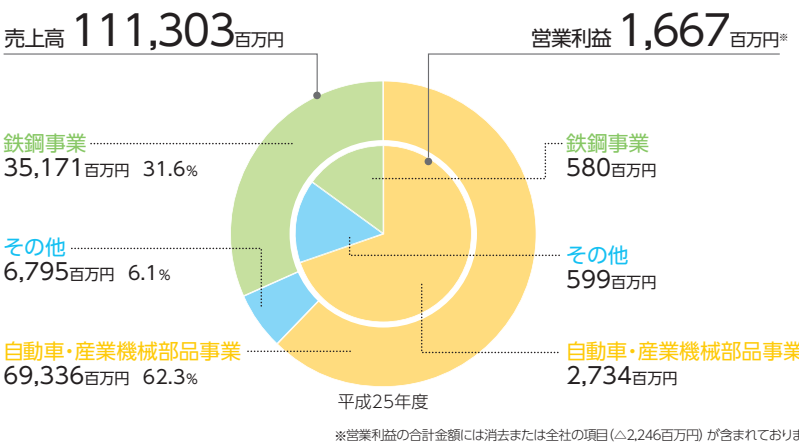
合成マイカ



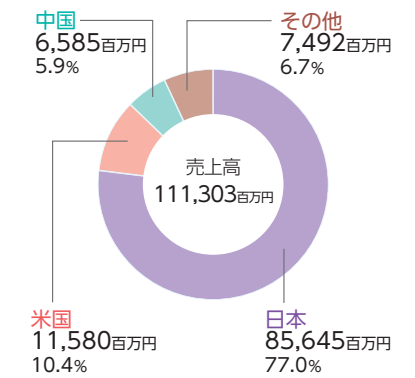
トピレックプラザ



事業別セグメントの売上高・営業利益



地域別の売上高



■メキシコに乗用車用スチールホイールの生産子会社を設立

当社は、5月28日、メキシコに乗用車用スチールホイールの生産子会社を、イタリア企業のMW Italia S.p.A. (以下「MW社」)との合併で設立し、新工場の建設を決定しました。

近年、メキシコの乗用車生産台数はアメリカ市場や南米市場向けの輸出が増加し、今後も中長期的に堅調に伸張していくとみられています。これまでメキシコ向けの乗用車用スチールホイールは、日本国内及びアメリカ(トピーアメリカ, INC. 当社100%子会社)から対応していました。メキシコ新工場の建設により、主要顧客のグローバル供給体制の構築要請に積極的に対応、

拡大するメキシコでのスチールホイール需要を着実に取り込むとともに、欧州系自動車メーカーなどにスチールホイールをグローバルに供給している合併パートナーのMW社と協力することで、さらなる営業基盤の強化を図ってまいります。

当社グループは、今後も中期連結経営計画「Growth & Change 2015」の重点テーマである「海外事業の拡充(量的成長)」を推進してまいります。



■インドネシアに建機部品の販売子会社を設立

当社は、5月30日、インドネシアに建設機械用履帯の販売子会社の設立を決定しました。これまでインドネシアの建機メーカーに対しては、履帯及び部品を日本より輸出していましたが、需要の増加に伴い顧客からの現地進出の要請が高まっていました。新会社は当社海外事業の戦略拠点の一つとして、ASEAN市場のみならず、長期的にみて建設機械需要の拡大が見込まれる南アジア、オセアニアなどに向けた販売拠点の役割を担い、当社グループの同地域での事業基盤をより強固なものにしてまいります。

■2013 TOPY CUP開催



当社グループは、社会貢献活動の一環として、TOPY CUP 日米対抗ゴルフ選手権を支援しています。今回で第30回を迎えたトピーカップのために、松山英樹プロや池田勇太プロ、羽川豊プロがウェルカムパーティーに駆けつけ選手を激励しました。試合は、東北福祉大学が最終日にワシントン大学を逆転して男子団体戦3連覇を飾り、女子団体戦では他の大学との差を大きく引き離しワシントン大学が見事初優勝しました。また、個人戦では男子が小西健太選手(東北福祉大学)、女子はシャーロット・トーマス選手(ワシントン大学)がそれぞれ優勝しました。

当社グループは、今後も本大会を特別協賛し日米学生親善、地域社会の活性化に貢献するとともに、スポーツを通じて東日本の復興を支援し、社会の公器としての責務を果たしてまいります。

■ホームページをリニューアル



この10月より、当社のホームページを全面リニューアルしました。今回のリニューアルでは、事業部紹介を製品紹介へ変更することにより、利用者にシンプルで分かりやすい構成にしています。また、文字サイズの拡大機能や音声読み上げ機能への対応、色覚に障害がある方でも文字の認識率が下がらないカラーユニバーサルデザインの採用により、利用者に使いやすいホームページを構築しています。

今後とも、当社ホームページを利用される全ての方にとってより良いホームページを目指し、内容の充実を図ってまいります。

株式の状況

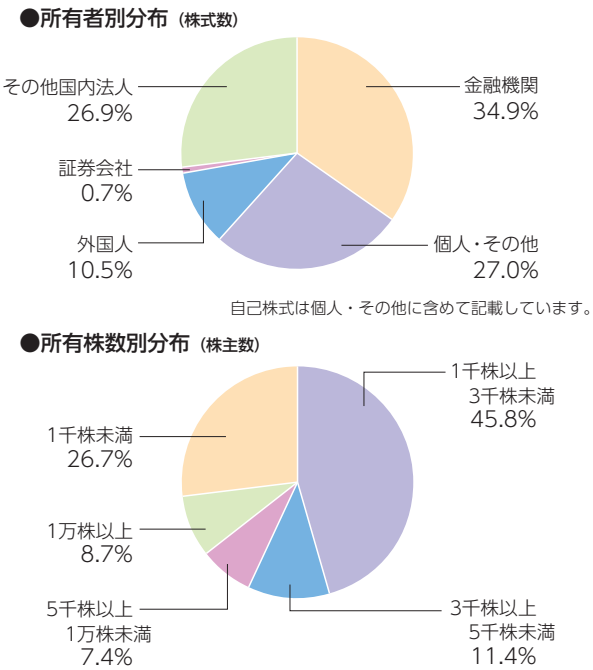
(平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数	883,000,000株
----------	--------------

発行済株式総数	240,775,103株
---------	--------------

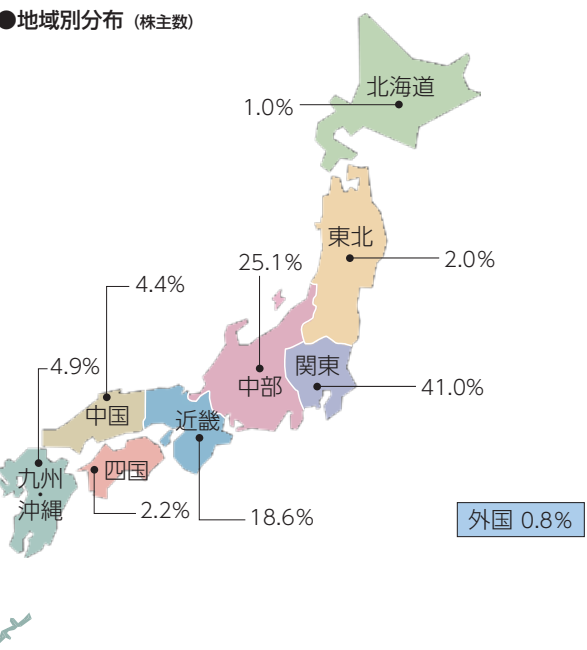
株主数	17,122名
-----	---------

株式分布状況



大株主一覧(上位10名)		
株主名	株数(千株)	持株比率(%)
新日鐵住金株式会社	48,482	20.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,800	4.13
明治安田生命保険相互会社	9,751	4.11
トピーファン ド	9,496	4.00
株式会社みずほ銀行	7,878	3.32
株式会社りそな銀行	5,909	2.49
株式会社損害保険ジャパン	5,746	2.42
トピー工業社員持株会	5,714	2.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	5,639	2.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	5,248	2.21

(注) 1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2.持株比率は自己株式(3,587,310株)を控除して計算しております。
3.トピーファン ドは当社及び関係会社取引先持株会の名称です。



会社概要

(平成25年9月30日現在)

商号	トピー工業株式会社
創立	1921年(大正10年)10月
資本金	20,983百万円
社員数	単体 1,903名 連結 4,508名

- 主要な事業所
- 本社 東京都品川区大崎1-2-2 ☎03-3493-0777(総務部直通)
 - 支店 名古屋支店 名古屋市中区 大阪支店 大阪市中央区
 - 生産拠点 豊橋製造所 愛知県豊橋市 豊川製造所 愛知県豊川市
綾瀬製造所 神奈川県綾瀬市 神奈川製造所 神奈川県茅ヶ崎市

連結子会社数 21社

役員			(平成25年9月30日現在)		
取締役			執行役員		
代表取締役社長	藤井 康雄		常務執行役員	望月 淳夫	
取締役副社長	東 彰		常務執行役員	齋藤 徳夫	
専務取締役	荒井 隆司		執行役員	谷 俊之	
常務取締役	石井 泰人		執行役員	棚橋 章	
取締役相談役	清水 良朗		執行役員	小川 雄三	
			執行役員	熊澤 智	
監査役			執行役員	木嶋 伸一	
常勤監査役	三津間 健		執行役員	竹内 一郎	
常勤監査役	黒崎 民雄		執行役員	木下 浩幸	
常勤監査役	山本 勝		執行役員	小島 正	
常勤監査役	大藤 衛		執行役員	渡部 恒夫	
			執行役員	中山 和久	
			執行役員	大洞 勝義	
			執行役員	山口 政幸	

株主優待制度のご案内

1千株以上 3千株未満ご所有の株主様

- 交通傷害保険の付保
- ・死亡・後遺障害保険
保険金額:100万円(最高)
補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害
保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで
9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
 - ・入院特約
保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)

3千株以上 1万株未満ご所有の株主様

- 交通傷害保険の付保
- ・死亡・後遺障害保険
保険金額:100万円(最高)
補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害
保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで
9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
 - ・入院特約
保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)
 - ・通院特約
保険金額:1千円/日(90日以内)

1万株以上ご所有の株主様

- 交通傷害保険の付保
- ・死亡・後遺障害保険
保険金額:100万円(最高)
補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害
保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで
9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
 - ・入院特約
保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)
 - ・通院特約
保険金額:1千円/日(90日以内)
- フラワープレゼント または 社会福祉団体への寄付
- 3月末日の株主名簿記載の株主様 6月実施
9月末日の株主名簿記載の株主様 12月実施

その他

当保険は保険業法における傷害総合保険普通保険約款交通事故傷害保険のみ担保特約が適用されます。
なお、保険の内容についてのお問い合わせ、事故のときのご連絡は、下記事務局までお願いします。

トピー工業株主様自動付帯交通傷害保険サポート事務局
株式会社トピーエージェンシー
TEL.03-5436-0212 FAX.03-5436-0215

株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
基 準 日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ 公告いたします。
期 末 配 当 金 受 領 者 確 定 日	3月31日
中 間 配 当 金 受 領 者 確 定 日	9月30日 (中間配当をする場合)
株 主 名 簿 管 理 人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公 告 方 法	電子公告 (当社ホームページ掲載) ※やむを得ない事由により電子公告が できない場合、東京都において発行 する日本経済新聞に掲載いたします。

● 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

● 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページの紹介



トップページ



株主・投資家の皆さまへ

ホームページでは、会社情報のほか、ニュースリリース、株主・投資家の皆さまへ、CSR・環境への取組みなど当社に関する各種情報を公開しております。

www.topy.co.jp/

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

